

財団法人 8020 推進財団
平成 18 年度 歯科保健事業助成交付報告書

平成 19 年 3 月 31 日

財団法人 8020 推進財団
理事長 大久保 満男 様

住 所	<u>〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 2 丁目 5-1</u>
申請団体名	<u>財団法人 福岡市健康づくり財団</u>
代表者名	<u>理事長 神宮 純江</u>
担当者名	<u>福岡市保健福祉局保健医療部保健予防課</u>
	<u>歯科保健担当課長 中山 恵美子</u>
	<u>電話 092-711-4309</u>
	<u>FAX 092-733-5535</u>

別添のとおり、平成 18 年度 歯科保健活動事業助成交付報告書を提出いたします。

事業名	福岡市「 <u>おやこ</u> で歯の健康づくり」
実施組織	<input type="checkbox"/> 社団法人 福岡市歯科医師会 <input type="checkbox"/> 財団法人 福岡市健康づくり財団 <input type="checkbox"/> 福岡市 保健福祉局保健医療部保健予防課 <input type="checkbox"/> NPO 法人 ウェルビーイング

福岡市「母子（おやこ）で歯の健康づくり」

はじめに

「健康日本 21 福岡市計画」では、歯科保健の重点項目として‘8020を目指して歯の定期的チェックを受ける‘ことを挙げています。

その契機として、妊産婦と子どもが‘かかりつけ歯科医院‘で定期健診・予防を受けることができるシステムづくりを行ないました。

事業の特色

「住民が主役」というヘルスプロモーションの理念に沿って、市民の歯の健康づくりを支援する事業として「歯科マタニティスクール（妊産婦歯科健診）」を、地域歯科保健を担う福岡市歯科医師会が福岡市健康づくり財団と協働で企画しました。

健診等の実質的部分は、歯科医師会が中心となって実施しますが、事業の普及と支援体制の強化のため、財団がコーディネーター役となり、行政やN P O法人も実施組織の構成員となりシステムづくりに取り組みました。

歯科マタニティスクール（妊産婦歯科健診）

- [対象] 妊婦および乳幼児の母親
- [料金] 1,000円
- [内容] むし歯・歯周疾患検診と保健指導
- [場所] ○健康づくりセンター（あいれふ）
○市内協力歯科医院 約300か所





事業の内容

- ① 家族で楽しく参加できる「妊婦の健康イベント」の開催と実行委員会を通しての母子保健関係者のネットワークづくり

「妊婦と赤ちゃんの健康を願って」

あいれふ de ほつびー マタニティ

少子高齢化の進行のなか、子育て支援の取組が重要になってきています。

福岡市健康づくり財団では、母子の「健康づくり」を支援するため、保健医療関係団体と共に標記のイベントを開催します。

- 日 時 平成19年1月13日(土)
13:30~16:00(12:30 開場)
- 場 所 健康づくりセンター(あいれふ)10F
- 対 象 妊婦の皆さん(ご家族での参加もOKです)100組(抽選)

■ お話を

- 13:30~14:10 「安心して赤ちゃんを迎えるために」 小児科医
14:10~14:30 「ママと赤ちゃんの歯の健康」 歯科医
14:40~15:20 「望ましいお産に備える心がけ」 産婦人科医

■ 相談コーナー

15:20~16:00(12:30~13:30も可)

- 助産師コーナー
- 栄養士コーナー
- 歯科衛生士コーナー

■ 8020コーナー(唾液による歯周病チェックなど)

■ 展示・情報コーナー

赤ちゃん用品などの展示や情報ブース



[主催] 福岡市医師会 福岡市歯科医師会 福岡市健康づくり財団

[共催] 福岡県看護協会 福岡県助産師会 福岡県栄養士会 福岡県歯科衛生士会

[協賛] サンスター(株) キューピー(株) フラウ(株)

[後援] 福岡市

「あいれふ de はっぴ～ マタニティ」実行委員会

日 時 平成 18 年 11 月 21 日 19:00～20:00
 場 所 あいれふ 7 階 第 2 研修室

(メンバー)

所 属	役 職	氏 名
福岡市医師会	理 事	下村 国寿
福岡市医師会	理 事	長野 英嗣
福岡市歯科医師会	理 事	久保田 悅生
福岡県看護協会	理 事	松本 八千穂
福岡県栄養士会	理 事	江頭 あゆ子
福岡県歯科衛生士会	常務理事	岩男 好恵
福岡市健康づくり財団	理事長	神宮 純江

(オブザーバー:福岡市保健関係専門職員)

所 属	役 職	氏 名
東区保健福祉センター	副所長	南部 由美子
こども未来局こども家庭課母子保健係	係長	永野 美紀
保健福祉局計画課（地域保健福祉活動調整担当）	課長	加藤 香代子
// 保健予防課（歯科保健担当）	課長	中山 恵美子
// 保健予防課栄養指導係	係長	三好 恵美子

(事務局)

所 属	役 職	氏 名
福岡市健康づくり財団	事務局長	宮川 秋雄
	総務課総務係長	大崎 弘
	健康推進課長	江上 裕子
	企画推進係長	佐野 忍

□ 相談コーナー



(助産師コーナー)

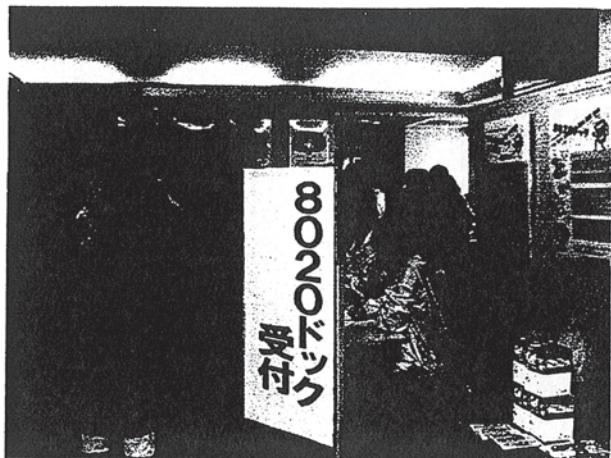


(栄養士コーナー)

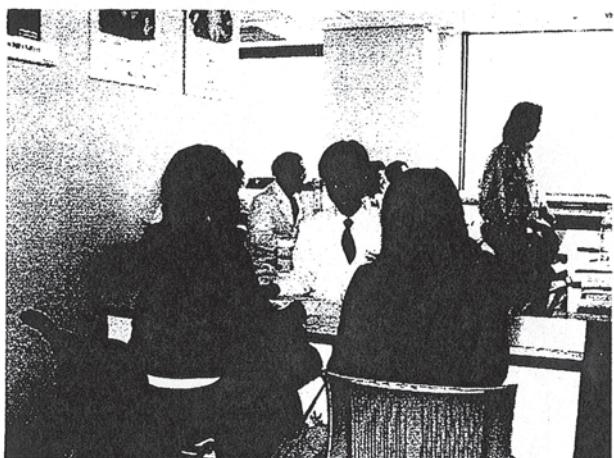


(歯科衛生士コーナー)

□ 「8020ドック」コーナー



(受付コーナー)

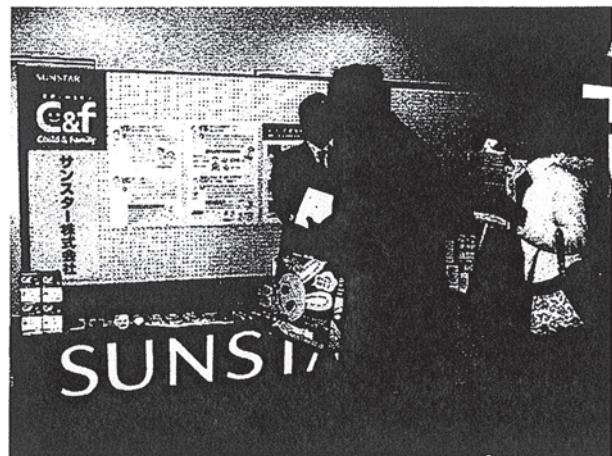


(検査コーナー)



(歯ブラシ指導コーナー)

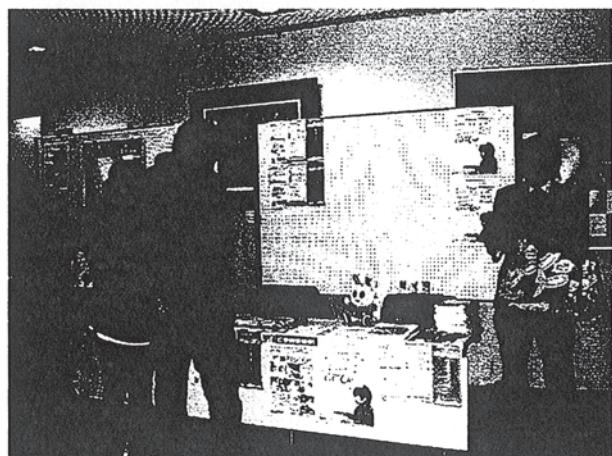
□ 展示・情報コーナー



(サンスター(株))



(キユーピー(株))



(フラウ(株))

② 母子歯科健康教育に従事する歯科衛生士の専門研修の実施

歯科衛生士指導者養成講習会について

1 目的

少子高齢化の進行のなか、子育て支援の取組が重要になってきているが、安全で安心できる子育ての基盤として、周産期の母子（おやこ）の心身の健康が重要であることは言うまでもない。

福岡市健康づくり財団では、本年度、8020 財団の歯科保健事業に対する助成を受け、保健医療関係団体と共に、「母子で歯の健康づくり事業」を進めているが、その一環として、歯科衛生士の母子歯科保健指導技術の向上のため、研修会を開催するもの。

2 実施主体

- 1) 主 催 財) 福岡市健康づくり財団
- 2) 共 催 社) 福岡県歯科衛生士会
- 3) 後 援 福岡市

3 研修内容

- 1) 日 時 平成 19 年 2 月 25 日（日）13:30～15:30
- 2) 場 所 あいれふ 9F 婦人会館講堂
- 3) 対 象 歯科衛生士 120 名
- 4) テーマ

■ 妊産婦の心と身体の変化について

講師：東 区保健福祉センター 助 産 師 松本 八千穂 氏

■ 赤ちゃんの離乳の基礎知識

講師：中央区保健福祉センター 管理栄養士 青柳 珠美 氏



③ N P O 法人による歯科受診への動機付けに関する意識調査

8020財団歯科保健事業助成 「福岡市母子で歯の健康づくり事業」
— 妊婦と乳幼児を持つ母親の歯科健診への動機付けに関する調査研究 —

□ マタニティ・スクール参加者へのフォーカス・グループ・インタビュー

(日 時) 平成18年11月27日(月) 14:30~16:00

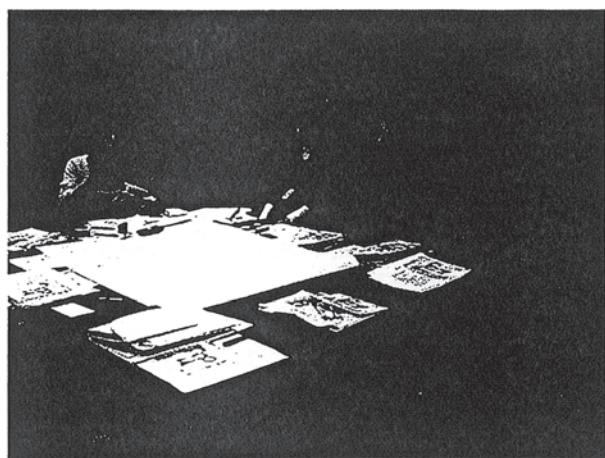
(場 所) 南区保健福祉センター

(参 加) 妊婦 18名

(担 当) NPO 法人 ウェルビーイング

(協 力) 南区保健福祉センター健康課

■ 岩井先生のグループ



■ 星岡先生のグループ



□ 子育てサロン参加者へのフォーカス・グループ・インタビュー

(日 時) 平成18年12月11日(月) AM
(場 所) 西区元岡公民館
(参 加) 2歳未満のこどもを持つ母親 18名
(担 当) NPO法人 ウェルビーイング
 ファシリテーター 壱井先生、岩井先生、星岡先生
(協 力) 西区保健福祉センター地域健康福祉課
 元岡校区地域役員等(託児ボランティア)
(備 考) 校区の歯科開業医 松岡 奈保子先生(ウェルビーイング)
 が、スタッフとともに協力参加。

■ 壱井・松岡先生のグループ



■ 地域の皆さんと託児ボランティア





おわりに

「健康日本 21 福岡市計画」で歯科保健の重点項目となっている‘8020 を目指して歯の定期的チェックを受ける‘ことを達成するため、妊産婦と子どもが、かかりつけ歯科医院‘で定期健診・予防を受けることができるシステムづくりの取り組みを行ないました。

- 民間団体等の母子保健関係者のネットワークづくり
- NPO 法人との協働での歯科受診への動機付けに関する意識調査の実施
- 家族で楽しく参加できる「妊婦の健康イベント」の開催
- 母子歯科健康教育に従事する歯科衛生士を対象とした専門研修の実施

なお、平成 19 年度から、福岡市の事業として「妊婦歯科健診」が、福岡市歯科医師会に委託して地域の歯科医院と、併せ、健康づくりセンターで受診できることになりました。

妊婦歯科健診

歯と歯ぐきのチェックを受けて、
お母さんのお口の健康と、赤ちゃんの健やかな成長を。。。



- | | |
|--------|--|
| (対象者) | 福岡市在住の妊婦の方 |
| (健診内容) | 口腔内診査（むし歯と歯周疾患）、歯科保健指導 |
| (実施場所) | 実施医療機関（ステッカーが目印）
* 福岡市歯科医師会ホームページで検索できます
* 健康づくりセンター（あいれふ・予約制） |
| (自己負担) | 500円（生活保護・市民税非課税世帯は無料） |

今回、実施した、福岡市「母子（おやこ）で歯の健康づくり」事業で構築したシステムを活用しつつ、今後も、市民の歯の健康づくりを推進する、キーとなる重点事業として、「妊婦歯科健診」の普及を図っていきたいと考えています。

(添付資料)

- 妊産婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

(平成 19 年 3 月 作成 : NPO 法人ウェルビーイング)

妊娠婦の歯科健診への
動機付けに関する調査研究報告書

平成 19 年 3 月

作成：NPO 法人ウェルビーイング

妊産婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

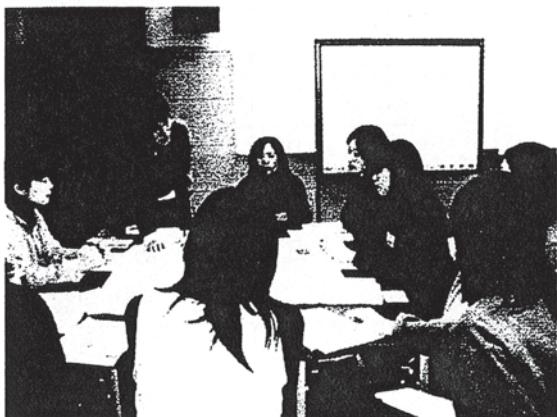
1. 調査の目的

妊産婦を対象に、妊産婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究を行う。

2. 方法

妊婦と産婦を対象に焦点を絞って話を聞くフォーカスグループディスカッション¹⁾を実施した。以下に概要を示す。

❖ 妊婦グループの様子 ❖



❖ 産婦グループの様子 ❖



1) フォーカスグループディスカッション：テーマを絞り、参加者が討論する定性調査手法の1つである。今回の調査では、妊婦、産婦それぞれの歯科マタニティスクールや歯科定期健診に関する思いを、資料や付箋を使いながら話し合った。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

1) 妊婦のフォーカスグループディスカッションの概要

- ① 実施日：2006年11月27日（月） 14:30-15:30
- ② 場所：福岡市南区保健センター
- ③ 参加者：マタニティスクール第4回目参加者 2グループ（18名）
- ④ 司会：岩井 梢、星岡賢範（NPO 法人ウェルビーイング）
- ⑤ 参加者のプロフィール

No.	年齢	福岡市の居住年数	妊娠	定期検診の受診
1	29歳	7ヶ月（学生の頃は福岡在住）	8ヶ月	なし
2	35歳	1年	9ヶ月	あり 3ヶ月前に受診
3	36歳	1年半	7ヶ月	なし
4	29歳	1年2ヶ月	7ヶ月	なし
5	26歳	2ヶ月	8ヶ月	なし
6	28歳	2年	5ヶ月	なし
7	36歳	1年	7ヶ月	あり 先々月に受診
8	27歳	3年	7ヶ月	なし
9	32歳	8ヶ月	7ヶ月	なし
10	31歳	1年	7ヶ月	あり
11	33歳	1ヶ月半	9ヶ月	あり
12	38歳	4年	6ヶ月	あり
13	32歳	1年	7ヶ月	なし
14	29歳	2年	7ヶ月半	あり
15	33歳	23年	7ヶ月	あり
16	32歳	1年半	5ヶ月	あり
17	28歳	28年	7ヶ月	あり
18	25歳	1年	7ヶ月	あり

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

2) 産婦インタビューの概要

- ① 日時：2006年12月11日（日） 11:35-12:10
- ② 場所：福岡市元岡公民館
- ③ 参加者：育児サークル参加者 2グループ（13名）
- ④ 司会者：壺井一彰、星岡賢範（NPO法人ウェルビーイング）
- ⑤ 記録係：岩井 梢、松岡奈保子（NPO法人ウェルビーイング）
- ⑥ 参加者のプロフィール

No.	年齢	福岡市の居住年数	子どもの年齢	定期検診の受診
1	30歳	6年	3歳、5歳	なし
2	25歳	25年	1歳5ヶ月	なし
3	25歳	25年	1歳4ヶ月	なし
4	31歳	長く	11ヶ月、4歳 5歳	なし
5	36歳	6～7年	3歳、6歳	なし
6	34歳	16年	1歳4ヶ月	あり
7	？歳	？年	5歳、3歳、0歳	子ども：フッ素塗布に行っている
8	28歳	4年	2歳、0歳	子ども：フッ素を半年に1回塗布
9	28歳	28年	5ヶ月	自分：勤めていたときは年1回
10	29歳	29年	11ヶ月、妊娠6ヶ月	行っていない
11	34歳	34年	3歳、1歳	行っていない
12	31歳	6年	5歳、2歳	上の子が暴れるのでそれ以来行っていない
13	34歳	9ヶ月	6歳、4歳、3歳	子ども：半年に1回行く

3. 結果のまとめ

※意見の詳細は、p.6 からの資料をご覧下さい。

①歯科マタニティスクール²⁾について

<パンフレット³⁾を見た感想>

住所と電話番号だけでは歯科医院の場所がわからないという意見が多く出された。特に、妊婦は福岡市での居住年数が短い人が多い。そのため、土地勘もなく、かかりつけの歯科医院がない。また、妊婦仲間で歯科の話題がのぼることがほとんどないため、歯科医院の情報を得ることが難しい状況にあるため、インターネットなどによる情報収集を行っていた。一方、産婦のグループでは、出産後はサークルや公民館にいくようになり、お母さんたちにも話を聞くようになったという意見が出された。

そのほか、内容、検査にかかる時間、医院の診療時間、マタニティスクールを受ける必要性、時期（妊娠中から産後までのどの時期に行くのがよいのか）、専門的な情報、受診者の体験談なども知りたいという意見があった。

<マタニティスクールについて>

歯科の専門家から提供してほしい情報としては、妊娠中は、歯周病と早産・低体重児の出生の関係、妊娠中の治療でのレントゲン・薬の使用の有無、妊娠中に通う時期などがあがっていた。また、子どもの歯に関しては、子どもを歯科医院に連れて行き始める時期、通う間隔、子どもの歯のためにあげるべきこと・気をつけること、乳幼児期にむし歯になりやすい食べ物など知りたいと思っている情報は数多くあった。一方、産婦のグループでは、子どもの歯の欠損がある母親からは「食育を考えた上で出産がしたい」という意見があった。

また、実施場所としては、妊婦、産婦ともに家から近い歯科医院という意見があがっていた。また、産婦からは、公民館や大型スーパーなどの場所の方が行きやすいという声があった。

2) 歯科マタニティスクール：福岡市歯科医師会が実施する妊産婦歯科健診。対象者は、福岡市市内の妊産婦（妊婦および0・1歳児の母親）、実施場所は指定歯科医院または福岡市健康づくりセンター、料金は1000円となっている。

3) パンフレット：歯科マタニティスクールのお知らせのパンフレット。パンフレットは、対象、実施場所、料金、福岡市歯科医師会指定歯科医院が掲載されている。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

②歯科・定期健診について

自分の口腔内で気になっていることは多くあるが、歯科医院に通うことに関しては、「痛い」「怖い」「治療の期間が長い」など過去の経験から、通うことに抵抗を感じているという意見が多く聞かれた。また、産婦からは、子どもが生まれると、時間的にも、金銭的にも自分の歯のことに時間がかけられないという意見が出された。事前に先輩お母さんから「産後は歯医者に行く時間がない」と聞いていた妊婦は早めに健診に行くようになっていたという意見もあり、妊娠中に歯科医院に行くことの必要性を知らせてほしいという声も聞かれた。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

4. 資料：意見の詳細

1) 妊婦グループ	2) 産婦グループ
①歯科マタニティスクールについて パンフレットを見た感想 パンフレットに掲載してほしい情報 料金について 受診の感想	①歯科マタニティスクールについて 歯科マタニティスクール必要な情報 情報提供のアイデア 健診や情報提供の場所
②歯科・定期健診について 歯科に関する情報収集の方法 子どもの歯のことでの気になること 定期健診に行く理由 定期健診行かない理由 自分の口腔内で気になること 定期健診のために必要な条件 インタビューの感想	②歯科・定期健診について 歯科医院について 妊娠時代の歯科治療について 自分や子どもの歯の健康のためにここに がけていること 定期健診のために必要な条件

1) 妊婦グループ

①歯科マタニティスクールについて

<パンフレットを見た感想>

- ・ ほぼ全員がみたことがある
- ・ 母子保健手帳の配布時にもらった。
- ・ 歯周病が気になるので、気になった。
- ・ 「歯周病のことを教えてくれたり、歯科検診をしてもらえるのかな？」と思った
- ・ 機会があれば行ってみたいと思った。
- ・ パンフレットには必要な情報が足りない。
- ・ このパンフレットを見ても行こうとは思わない。

<パンフレットに掲載してほしい情報>

- ・ (歯科医院の) 住所、電話番号だけでなく、地図をぜひ載せてほしい。福岡に来たばかりだと住所だけみてもどの辺にあるのかわからない。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

- ・ 病院の地図や写真を載せてほしい。リストを見てもどこにあるのかわからない。住所だけでは歯科医院の場所がわからない
- ・ マタニティスクールの所要時間がどのくらいかかるのかを知りたい
- ・ 検査にかかる全体の時間を載せてほしい
- ・ 診療時間。仕事をされている人のために、何時から何時まで開いているとか、土曜日もやっているとかもあったらいいなと思う
- ・ 予約ができるか？
- ・ 「どんな健診をするのか？」具体的なこと書いてほしい。
- ・ どんなことをしてほしいなどの希望はないが、「歯医者は怖いので何をされるのかな？」と思う。
- ・ マタニティスクールの内容が知りたい。
- ・ むし歯があった場合、治療にはレントゲン、薬などを使ったりするのは大丈夫なのか？知りたい。
- ・ パンフレットの表に書いてある「歯周病がなぜ早産、低体重児の出生の原因になるのか？」わからない。できれば簡単な説明でも良いのでパンフレットに書いてあると良い。また、病院に行ったときにも教えてほしい。
- ・ 妊娠してからいつ頃に行くのが一番良いのか？を知りたい。
- ・ 生まれた後の治療は難しくなるため、今のうちからの健診が大切であることも表示してあるとベター。←少し前に友だちが行って、「生まれた後は、歯が痛くなってしまいかなくなるよ」って話をしてくれたのでマタニティスクールに行った。多分その話を聞いていなかつたら、このパンフレットだけでは行かない気がするので、今のうち（妊娠中）から健診に行っておく必要性などを載せてほしい。
- ・ 現在かかりつけの歯科医がパンフレットに載っていないがみてももらえないのだろうか？その場合の料金は？など気になる
- ・ 難しいとは思うが、歯医者さんによって上手なところとか、口コミや人気などの情報があると助かる。良い先生かどうか？丁寧か？治療がうまいか？
- ・ もう少し専門的な情報を載せて欲しい。
- ・ 実際に経験された産婦さん（先輩達）の体験談を載せて欲しい。

<料金について>

- ・ 料金の 1000 円というのが高く感じるか、安く感じるかは、内容によると思う。
- ・ 料金はただの方が行きやすい

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

＜受診の感想＞

- ・マタニティスクールに実際に行ってみると、ふつうの診断とは違って写真も撮ってくれ、歯周病になると胎児に影響があるという話と聞いた。行って良かった。

②歯科・定期健診について

＜歯科に関する情報収集の方法＞

- ・（歯科医院のことを）他のお母さんに聞くことはまだない。職場の方に聞いたりすることはあるけど、やっぱり自分の家の近くがいいなとは思う。近くないと通いにくい。
- ・情報はインターネット（Yahoo!など）で検索。
- ・医院を探すときは住所と「歯科」などのキーワードで探す。
- ・福岡市のホームページも多分見たことがある。
- ・市報はあまり見ない。
- ・母子手帳に載っていると見る。
- ・新聞。

＜子どもの歯のことで気になること＞

- ・赤ちゃんを医院に連れて行くとしたら、「泣き声で迷惑をかけないか？」「授乳する場所は？」などが心配。待合室があるともっと歯科医院にいきやすい。
- ・子どもが連れて行きやすい医院があると良い
- ・「歯が生えそろうまで何をしてあげたらいいか？」「どういうことに気をつけたらいいのか？」、マタニティスクールに行ったときにいろいろとアドバイスがほしい。「(子どもに)何をしてあげたらいいのか」わかりづらいので教えてほしい。
- ・「子どもの歯が生えて（歯科医院に）つれていけばいいのか？」「定期的に行つた方がいいのか？」がわからない。
- ・歯が生えてからの子どもの歯磨きの仕方を病院とかで教えてもらえるなら行きたい。
- ・乳幼児期にむし歯になりやすい食べ物。
- ・母乳を飲ませた後にも口の中を流した方がいいのか？
- ・子どもの歯の手入れ。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

<定期健診に行く理由>

- ・自分は、歯が弱いので、むし歯がなくても定期的に歯科医院に行っている。

<定期健診行かない理由>

- ・怖いっていうのがあって、痛くともなるべく我慢して、本当に痛くなるまでは（歯科医院に）行かない。
- ・怖くて（歯科医院に）行けなくなっている。
- ・歯医者の音（が苦手）。機械の音とかが痛そう（に感じる）。
- ・先生の評判が気になるので、行ったときにいやな思いをしてしまうと、「他の歯医者も同じかな？」と思ってしまう。いやな思いをこれまで何度もしたので、本当に痛くなるまでは行きたくない。
- ・評判というか、信頼できる先生っていうのがわかっていたら行くかもしれないけど、どこに行っていいのかもわからない。
- ・待ち時間がすごくかかったり、何度も行かないといけないっていうのがあると行きにくくなる。
- ・いやな思いをしたことがトラウマになっている。
- ・痛いというイメージがある。歯垢とかをとったときに血が出たりしたことがあるので行かない。
- ・少しづつ治療になっていくので、たびたび通わないとけなくなり、長くかかるなあと思う。
- ・定期健診には行っていないが、着色をしやすいのがあるのと、1回神経を抜いてそれが死ぬほどいやだったのでそんなになる前に行っておきたいというのがあるので、1年に1回くらいは行くようをしているが、それでも行き出すと何ヶ月もかかったりするので、気がつくと結構お金がかかったりとかがあるので足が遠のくことがあった。
- ・忙しくて億劫になったりとか、毎回ちょこちょこ行かなくてはいけなくなるとかがいや。
- ・がまんできるときは行きたくない。
- ・言い訳かもしれないが、仕事をしていると行きづらい。土曜日にいけばいいとは思っているが、行っていない。
- ・福岡市に来て期間が短いので、かかりつけの歯医者さんがない。
- ・（インタビュー参加者の大半が）まだ福岡市に来て歯医者に行っていない。
- ・歯科医院には定期的に行つた方が良いことは知っている。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

- ・治療回数が多い
- ・歯科医院に行くことがまだ習慣になっていない。
- ・むし歯が見つかって治療になった時の心配。

<自分の口腔内で気になること>

- ・知覚過敏で冷たいものがしみ、痛いときはかめないくらい痛い。それがむし歯なのか、知覚過敏なのかが自分で判断できないので、気になっている。できたら見てもらいたいが、できれば歯医者に行くのは避けたい。
- ・今は、歯のことで気になっていることは特にない。
- ・知覚過敏になっていて、毎回言われ、磨きすぎって言われる。でも、着色もするので「どう磨いたらいいか?」と思う。磨かないむし歯になるし、力を弱く磨きなさいといわれるが、それがどんな感じなのかがわからないので、歯の磨き方が気になっている。以前、電動の歯ぶらしがいいと言われそれを使っている。しかし、そういうアドバイスの通りやつても1年後に行くと、また同じように知覚過敏になっており、やっぱり悪いんだと思ってしまう。
- ・いっぱい気になることがある。以前、歯ぐきが腫れて痛かったことがあったが、しばらくしたら治ったので大丈夫かなと思って行ってない。痛くはないけど多分虫歯があるのはわかっているが、行きだしたら次から通わなくてはいけなくなるだろうから、余裕ができてから行こうと思っている
- ・親しらずが心配。両方持っていて、ひとつは3, 4年前に抜いたが、埋まっていたので切ったりしてすごく腫れた。そのときにも片方もとるかと聞かれたが、痛い思いをしたので、むし歯になるまで待ちますと答え、先延ばしになっている。その後に、歯医者には行っていない。
- ・いろいろあるが、産後の方が心配。産後、よく歯がボロボロになると聞く。そのあたりが気になる。周りの人が、「赤ちゃんの方にどうしてもカルシウムがいき、体調を崩したところでもっと歯に負担がかかってしまう」と聞いた。その辺をもっと詳しく知りたい。
- ・むし歯は多分ある。治療も途中のところがある。でも、おなかが大きくなってしまうと、同じ体勢、寝て治療を受けるのがつらいと思うし、行くタイミングを逃したなと思っている。
- ・2年半くらい前になるが奥歯が痛くて病院に行ったがむし歯と言われてその日に抜くことになった。神経まで抜いて痛くて痛くて、初日に歯を抜いて良かったのか心配になって、別の病院にいった。そしたら、その後の治療をバトンタッチしてやってく

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

れたが、いまだにかみあわせが痛かったりする。痛みは時間がたつと自然にとれてくると言われたが、かなりの年月がたったがなかなか治らない。かみ合わせると痛い。「この治療で正しかったのかな?」という心配があつて、「あの病院は良かったのか?」っていうのが未だに気になっている。2軒行って治療は終わっているので、そのあとは歯科医院には行っていない。

- ・奥歯の歯垢がとりにくいで、それが困っている
- ・定期検診に行ってないので歯石がついていないか心配。
- ・歯磨きをするとよく歯ぐきから血が出る。

<定期健診のために必要な条件>

- ・家から近いところが良い。
- ・どのくらいかかるか(期間・回数)を知りたい。
- ・料金を知りたい。
- ・病院が開いている時間が知りたい。
- ・予約ができると良い。

<インタビューの感想>

- ・今まで健診があるのはパンフレットとかで知っており、機会があったら行こうかないくらいに思っていたけど、やっぱり行かないといけないということを自覚した。
- ・今日の話し合いで、いかに歯医者を遠ざけていたの反省した。歯は大事らしいので。
- ・歯医者は病院の中では一番身近な反面、他の病院と比べて軽く扱ってしまうとか、なかなか行かなかったりする。マタニティスクールとか簡単なPRでは「みんな行かないのかな?」という気がする。
- ・「行かなくてもいいのかな」と思っていたが、みなさんの話を聞いていると、まだ5ヶ月なので、7ヶ月になる前に行っておこうかと思った。
- ・自分が思っていることとみなさん同じことを思っているのがよくわかったのと、「定期健診とかもやっぱりいかなきやな」と思った。
- ・「やっぱり定期健診に行こうと思った」と、みんなの意見が聞けて良かった。
- ・周りの妊婦さんとかに聞いてもあまり歯科の方の話がでてこなかつたので、行く人と行かない人が結構われてしまうと思う。これまで「行かない人が多いのかな」と思っていたが、「やっぱり大事なんだな」と思った。
- ・歯医者っていうのは歩けば何軒もあるくらい多いので、どの歯医者さんが一生懸命

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

頑張っているのかっていうのを PR とかをしてもらえるとこちら側も行きやすくなる。熱意とか PR してもらえると行きやすくなるかなと思う

- ・なかなか歯についてとか皆さんとお話しする機会がないので、今日は新鮮な感じだった。

2) 産婦グループ結果

①歯科マタニティスクールについて

<歯科マタニティスクール必要な情報>

- ・ 地図：どこに行くのも歩き。住所だけではわからない。TELで問い合わせもわからない
- ・ どういうことをするか、何にお金がかかるのかを教えてほしい。

<情報提供のアイデア>

- ・ ポスターを見たことのない（1グループ全員）
- ・ テレビ CM
- ・ 新聞・ちらし
- ・ 子育ての情報誌：ママ大好きなど
- ・ 産婦人科で情報提供
- ・ いい歯の日などをもっと広めてほしい。診療代が「お得！」なことをもっと知らせてほしい。

<健診や情報提供の場所>

- ・ ジャスコ（大型スーパー）で先生やお姉さんが歯磨き指導やダンスをしていたのに参加したがとても楽しくて良かった。
- ・ 公民館
- ・ スーパーで楽しいイベントとしてやると良い
- ・ 歯ブラシのプレゼントがあると行くかもしれない。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

②歯科・定期健診について

<歯科医院について>

- ・ 痛いときに行く。
- ・ 近くの歯科医院に行く。
- ・ 歯科医院は、福岡に来てすぐのときは主人の親に聞いて選んだ。公民館などのサークルに来るようになってからは、お母さんたちにも聞くようになった。
- ・ 出産して1年くらい引っ越しとかで行っていなかった。電話で何軒かに問い合わせをして下調べをして選んで歯科医院に行き始めた。
- ・ 自分が磨ききれない部分があるのでクリーニングしてほしい。
- ・ 「むし歯がある」と言われたくないので、ショッちゅう歯医者に行く（定期健診に通っている）。
- ・ むし歯の自覚症状がないのに、むし歯があると言われ通わないといけなくなる（のがいや）。
- ・ 自覚症状がないときは行かない。
- ・ むし歯の数だけ歯科医院で調べてもらい、（時間に余裕があり）いけるときに1週間くらいで一気に治療をしてもらう。だんだんとつらくなってくるが、口を開ける装置を使ってもらうと楽に治療してもらえる。
- ・ 治療が長くかかると億劫になる。一度で治療が終わると良い。
- ・ 金額を考えると、自分よりも子ども優先になる。
- ・ すでに通っている歯科医院があり、そこに定期健診にいき、子どもが生まれてからは連れて行っているので、わざわざ歯科マタニティスクールに行こうと思わない。
- ・ 子どもが診療台に寝ただけで泣いていやがる。連れて行くのに勇気がいる。子どもが泣くのでぐるぐるに巻かれるのが不安。
- ・ 10年くらいは歯医者に行っていなかったが、歯医者に行って一度きれいにしてもらうと維持したいと思う

<妊娠時代の歯科治療について>

- ・ 歯ぐきからの出血が多くてつらかった。
- ・ 痛み止めの薬も飲めないし、麻酔も使えないで、治療はつらかった。
- ・ 無料健診のときに5ヶ月までにといわれた。母子手帳にも書いてあったので、5ヶ月までに治療した。
- ・ 体勢がつらいので、ふつうよりも勇気がいる。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

- ・カルシウムの子どもにとられるなどがあるので食事療法なども教えてほしい。
- ・上の子は歯が2本足りなかった。今度は、食育を考えた上で出産したい。
- ・婦人科の先生にぎりぎりまで行って良いと言われたので、歯科医院に通った。

<自分や子どもの歯の健康のためにこころがけていること>

- ・定期健診（歯科医院に行く）。
- ・食べたら歯をみがく。
- ・甘いもの、砂糖を使ったものをあげない（11ヶ月）。
- ・子どもに手本をみせる（子どもがマネをする）。
- ・（歯科医院にいやがっていかない）家でフッ素を塗る
- ・夜しか歯をみがかしてくれないので、歯をみがいたあとで“ハキラ”（タブレット）を使う。
- ・歯科医院は苦手（妊娠のときは、椅子に寝れない）
- ・食べた後にお茶、麦茶を飲ませる
- ・子どもは定期健診でも大泣きする。おさえつけてやってもらう。
- ・自分（母親）でキシリトールガムをよく食べる。（母乳から子どもにいく）
- ・夜、フッ素入り歯磨き粉でよく磨く。
- ・子どもが小さいと連れて行きにくいが大きくなると連れていける。
- ・前に住んでいるところは、目の前が歯科医院だったので行きやすかった。（近接性）
今は、半年に1回行っている。
- ・3人連れて定期健診に行くのは大変。とくに小さい子がいると厳しい。
- ・定期健診は下の子が生まれてから行けていない。

<定期健診のために必要な条件>

- ・良いとわかっていても優先順位は低い。
- ・歯が痛くならなければ定期健診には行かない。
- ・料金の表示が必要。
- ・痛くなつて歯科医院に行く。
- ・妊娠のとき、上向きはきつい。時間的なものが気になる。
- ・子どもが3人いるから自分のことはとりあえず放つておく。
- ・お知らせがきたらいきやすい。
- ・時間と子どもをみてもらえるかどうかが心配。
- ・診療はダメでも、みせることOK。発見すれば行くしかない。

妊娠婦の歯科健診への動機付けに関する調査研究報告書

- ・ 500 円や 1000 円くらいならいくと思う。
- ・ 勤務中は 1 年に 1 回行っていた。お産の前に 1 度定期健診を行っていた。
- ・ 周りから「フッ素しとくといいよ」とアドバイスされて定期健診に行った。
- ・ 初診療も 420 円でいい。フッ素塗布だけしてくれる。
- ・ 定期健診に何回もいくのは大変。
- ・ 乳幼児健診で歯科検診があるなど、強制的なしづらさがあると行く。
- ・ **治療費が高い。**
- ・ (集団検診で) 行きなさいといわれれば(歯科医院に) いく。
- ・ 行くたびに**治療費が変化する。(予測がつかない)** 事前にわかれば行きやすい。